



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月30日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東  
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	24,580	0.5	1,080	60.8	911	47.1	604	—
2023年3月期	24,462	14.6	671	40.3	619	20.6	△485	—

(注) 包括利益 2024年3月期 1,035百万円(910.0%) 2023年3月期 102百万円(△89.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	41.91	—	7.8	3.9	4.4
2023年3月期	△33.78	—	△6.7	2.8	2.7

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	23,340	8,461	35.3	569.55
2023年3月期	23,879	7,446	30.3	502.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 8,235百万円 2023年3月期 7,233百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,377	△769	△2,236	4,740
2023年3月期	1,502	△1,324	1,470	5,091

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	43	—	0.6
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	144	23.9	1.9
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00		24.8	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.7	1,300	20.3	970	6.4	640	5.8	44.34

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	14,624,000株	2023年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	163,887株	2023年3月期	229,487株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	14,434,442株	2023年3月期	14,369,638株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	9,358	2.8	△13	—	586	20.4	294	△31.1
2023年3月期	9,104	0.0	119	△57.6	487	△12.4	427	△17.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	20.41		—					
2023年3月期	29.76		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	15,210		7,117		46.8	492.25		
2023年3月期	15,021		6,692		44.6	464.96		

(参考) 自己資本 2024年3月期 7,117百万円 2023年3月期 6,692百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は2024年5月10日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の当社が属するプリント配線板業界は、半導体不足の緩和により、自動車向けは回復がみられたものの、第4四半期に入り国内の一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響や中国経済の減速、在庫調整の長期化、物価上昇を背景に需要は減少しました。また、中国経済の先行き懸念や世界的な金融引き締めに伴う影響、急激な為替変動、エネルギー価格の高止まりなどから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野の受注が第3四半期まで好調に推移したことで前年同期を上回りました。実装関連事業では、航空機、産業機器向けの受注好調に加え、新規市場開拓により通信機器向けの受注が大幅に増加した結果、国内の売上高は前年同期を上回りました。

海外においては、ベトナムでサプライチェーン体制の再編により中国から生産移管を行った北米向けの自動車関連分野の受注が大幅に増加しました。一方、中国で事務機分野や電源等の電子部品分野を中心に受注が減少しましたが、円安の為替影響もあり、連結売上高は、24,580百万円（前年同期比0.5%増 117百万円の増収）となりました。

利益面は、電力料等の製造経費の高騰が続いたものの、ベトナムと国内の実装関連事業は、引き続き大幅な増収により増益となり、好調に推移しました。中国は受注減にあわせてコスト改善を進めたことと、付加価値の高い自動車向け金属基板が増加しました。これらの結果、営業利益は1,080百万円（前年同期比60.8%増 408百万円の増益）、経常利益は911百万円（前年同期比47.1%増 291百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は604百万円（1,090百万円の増益）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (総資産)

当連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少347百万円、受取手形及び売掛金の減少243百万円、電子記録債権の増加133百万円、原材料及び貯蔵品の減少346百万円、投資有価証券の増加208百万円等により、23,340百万円（前連結会計年度末比539百万円の減少）となりました。

#### (負債)

当連結会計期間末における負債は、主に短期借入金の減少1,392百万円、長期借入金の減少388百万円等により、14,879百万円（前連結会計年度末比1,553百万円の減少）となりました。

#### (純資産)

当連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の増加560百万円、為替換算調整勘定の増加402百万円等により、8,461百万円（前連結会計年度末比1,014百万円の増加）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度より350百万円減少し、4,740百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、2,377百万円（前年同期は1,502百万円の増加）となりました。これは主に減価償却費1,042百万円、税金等調整前当期純利益894百万円、棚卸資産の減少779百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、769百万円（前年同期は1,324百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出765百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少額は、2,236百万円（前年同期は1,470百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純減額1,670百万円、長期借入金の返済による支出465百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	38.1	34.8	34.4	30.3	35.3
時価ベースの自己資本比率(%)	18.8	25.1	23.0	17.1	26.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	30.1	22.0	—	7.0	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	4.3	4.8	—	11.0	6.0

自己資本比率：自己資本／総資本

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産額

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベース財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2022年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、半導体不足やサプライチェーンの混乱が解消され、需要の回復が期待されていますが、米中対立をはじめとした経済安全保障体制の懸念、世界的な金融引き締めによる政策金利の上昇や為替変動、さらにロシア・ウクライナ情勢や中東情勢による原材料、エネルギー価格の高止まりなど不確定要素が多く、世界経済の先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画達成のため、新規顧客の獲得を図るとともに、DX・自動化を加速させ、業務の効率化に取り組み、全社一丸となって収益力の強化、企業価値の向上に努めています。

前期に生産ラインの増設が完成したベトナム工場は、引き続き、旺盛な自動車需要が期待され、中国では、付加価値の高い金属基板の増加や国内では実装事業が堅調に推移すると見込んでおります。

これらにより、次期(2025年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高25,000百万円、営業利益1,300百万円、経常利益970百万円、親会社株主に帰属する当期純利益640百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,233	4,885
受取手形及び売掛金	3,652	3,409
電子記録債権	946	1,079
製品	2,407	2,190
仕掛品	560	598
原材料及び貯蔵品	1,666	1,319
その他	1,489	1,571
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	15,950	15,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,255	5,543
減価償却累計額	△3,526	△3,841
建物及び構築物(純額)	1,729	1,702
機械装置及び運搬具	11,481	12,488
減価償却累計額	△7,427	△8,281
機械装置及び運搬具(純額)	4,054	4,207
土地	724	724
建設仮勘定	23	29
その他	1,645	1,764
減価償却累計額	△1,026	△1,202
その他(純額)	618	562
有形固定資産合計	7,149	7,225
無形固定資産	25	18
投資その他の資産		
投資有価証券	348	556
繰延税金資産	80	88
長期滞留債権	594	631
その他	328	403
貸倒引当金	△596	△634
投資その他の資産合計	755	1,045
固定資産合計	7,929	8,290
資産合計	23,879	23,340

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,925	2,909
電子記録債務	976	880
短期借入金	5,049	3,657
1年内返済予定の長期借入金	465	605
リース債務	46	37
未払法人税等	187	241
賞与引当金	221	229
その他	1,010	930
流動負債合計	10,884	9,491
固定負債		
長期借入金	4,821	4,432
リース債務	73	48
退職給付に係る負債	498	537
その他	155	370
固定負債合計	5,548	5,388
負債合計	16,432	14,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,186	1,202
利益剰余金	3,648	4,208
自己株式	△25	△18
株主資本合計	5,910	6,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	203
繰延ヘッジ損益	△74	△204
為替換算調整勘定	1,396	1,799
退職給付に係る調整累計額	△67	△57
その他の包括利益累計額合計	1,322	1,741
非支配株主持分	213	225
純資産合計	7,446	8,461
負債純資産合計	23,879	23,340

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,462	24,580
売上原価	20,519	20,101
売上総利益	3,943	4,478
販売費及び一般管理費	3,271	3,397
営業利益	671	1,080
営業外収益		
受取利息	7	14
受取配当金	7	8
為替差益	38	—
仕入割引	18	4
受取手数料	7	—
雇用調整助成金	26	—
補助金収入	—	212
雑収入	51	25
営業外収益合計	158	265
営業外費用		
支払利息	197	389
為替差損	—	39
売上債権売却損	2	2
雑損失	9	2
営業外費用合計	210	434
経常利益	619	911
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産売却損	5	1
固定資産除却損	13	20
投資有価証券評価損	251	—
貸倒引当金繰入額	585	—
その他	0	—
特別損失合計	855	21
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△234	894
法人税、住民税及び事業税	222	297
法人税等調整額	34	△18
法人税等合計	256	279
当期純利益又は当期純損失(△)	△490	615
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△5	10
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△485	604

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△490	615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	136
繰延ヘッジ損益	△22	△130
為替換算調整勘定	676	405
退職給付に係る調整額	△45	9
その他の包括利益合計	593	420
包括利益	102	1,035
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	94	1,023
非支配株主に係る包括利益	7	12

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,172	4,204	△33	6,446
当期変動額					
剰余金の配当			△71		△71
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△485		△485
自己株式の取得					—
自己株式の処分		13		7	20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	13	△556	7	△536
当期末残高	1,102	1,186	3,648	△25	5,910

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	83	△51	733	△22	742	205	7,395
当期変動額							
剰余金の配当							△71
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△485
自己株式の取得							—
自己株式の処分							20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15	△22	662	△45	580	7	588
当期変動額合計	△15	△22	662	△45	580	7	51
当期末残高	67	△74	1,396	△67	1,322	213	7,446

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,186	3,648	△25	5,910
当期変動額					
剰余金の配当			△43		△43
親会社株主に帰属する当期純利益			604		604
自己株式の取得		△0		△0	△0
自己株式の処分		16		7	23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1		△1
当期変動額合計	—	15	560	7	583
当期末残高	1,102	1,202	4,208	△18	6,494

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	67	△74	1,396	△67	1,322	213	7,446
当期変動額							
剰余金の配当							△43
親会社株主に帰属する当期純利益							604
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	136	△130	402	9	418	12	429
当期変動額合計	136	△130	402	9	418	12	1,014
当期末残高	203	△204	1,799	△57	1,741	225	8,461

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△234	894
減価償却費	947	1,042
引当金の増減額 (△は減少)	604	37
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	12
受取利息及び受取配当金	△15	△22
支払利息	197	389
有形固定資産除売却損益 (△は益)	17	17
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	251	—
その他の特別損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	429	404
棚卸資産の増減額 (△は増加)	235	779
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27	△334
その他	△593	△232
小計	1,878	2,986
利息及び配当金の受取額	14	22
利息の支払額	△136	△398
法人税等の支払額	△254	△233
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,502	2,377
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△1,312	△765
無形固定資産の取得による支出	△3	△1
有形固定資産の売却による収入	5	11
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,324	△769
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	86	△1,670
長期借入れによる収入	1,986	—
長期借入金の返済による支出	△476	△465
配当金の支払額	△70	△42
リース債務の返済による支出	△55	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,470	△2,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	281	277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,929	△350
現金及び現金同等物の期首残高	3,161	5,091
現金及び現金同等物の期末残高	5,091	4,740

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にプリント配線板及びこれに付随する電子部品等の製造販売をしており、国内においては、当社、三和電子株式会社が、海外においては中国をKyosha Hong Kong Company Limited、Guangzhou Kyosha Circuit Technology Co., Ltd.、Kyosha North America, Inc.、Kyosha(Thailand)Co., Ltd.、Kyosha Malaysia Circuit Technology Sdn.Bhd.、Guangzhou Kyosha Trading Companyが、インドネシアをPT. Kyosha Indonesiaが、メキシコをKyosha de Mexico, S.A. de C.V.が、ベトナムをKyosha Vietnam Co., Ltd.が、それぞれ担当しております。各社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国 (注) 2	インド ネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,222	12,589	2,158	47	444	24,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	623	962	581	47	1,706	3,922
計	9,846	13,552	2,739	95	2,151	28,385
セグメント利益(△はセグメント 損失)	189	699	△13	△0	△178	696
その他の項目						
減価償却費	280	298	61	5	303	949

(注) 1. 当社は事業セグメントに資産を配分しておりません。

2. 「中国」セグメントであるKyosha Korea Co.,Ltdは2022年4月に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。なお、当連結会計年度においては、清算終了時までの損益計算書のみ連結しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インド ネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,793	12,252	1,798	60	675	24,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	735	821	330	70	3,169	5,128
計	10,529	13,074	2,128	131	3,844	29,708
セグメント利益(△はセグメント 損失)	197	698	△80	3	269	1,088
その他の項目						
減価償却費	293	281	30	7	432	1,044

(注) 当社は事業セグメントに資産を配分していません。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	28,385	29,708
「その他」の区分の売上高	—	—
セグメント間取引消去	△3,922	△5,128
連結財務諸表の売上高	24,462	24,580

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	696	1,088
「その他」の区分の利益	—	—
セグメント間取引消去	△24	△8
連結財務諸表の営業利益	671	1,080

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	949	1,044	—	—	—	—	949	1,044

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	502円53銭	569円55銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△33円78銭	41円91銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載していません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たりの当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△485	604
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△485	604
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,369	14,434

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	7,446	8,461
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	213	225
(うち非支配株主持分)(百万円)	(213)	(225)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	7,233	8,235
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	14,394	14,460

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。